

事業所名		放課後等デイサービス ジョイジョイ			公表日		2026年4月24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・教会等を使ったり、パーテーションで区切ったりしている。 ・教会の施設も活用しながら、活動に合わせて工夫している。 ・利用者の必要に応じて、隣接する教会の部屋を利用したり、利用者同士の隔離が必要な場合は、散歩や外部の施設を利用する等の工夫をしている。 ・子どもたちの身体の成長と共に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常は過ごしやすいと思うが、雨の日に10名の子がいる時は、少し狭いように感じることがある。 			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態に応じて、個別対応が出来るよう配慮している。 ・1名以上多い人員配置をし、なるべく丁寧な対応を心がけている。 				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	70%	30%	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、おやつ、遊び、学習と明確に分かりやすく、環境を整え、構造化を目指している。 ・パーテーションを設置している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化されていない。玄関まわりの狭さや急な階段など使いにくい部分がある。 ・昭和の家なので、段差などがあるが、危険な所は取り除いている。 			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、清掃しており、畳の上にジョイントマットを敷いて安全で快適に過ごしている。 				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて間仕切りを用いて個人のプライベートスペースを作ることができる。また、隣接する教会の部屋を使用することもできる。 ・必要時に教会の部屋が使えるようになっていて、良い環境だと思う。 				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で共有している。 				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	88%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・評価表は無いと思うが、面談を通して保護者の意向を聞く機会はある。 				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	90%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物対策等、繋がっているように感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月ミーティングをしているが、個別で意見を聞く機会は少ない。 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	90%	10%					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のミーティング時にテーマを決めて研修を行っている。 				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、保護者面談を行い、放課後等デイサービス計画を作成している。 				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に担当指導員が同席して共有している。 				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で共有している。 				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%	・場合によっては、標準化されたアセスメントツールを用いて子どもの状態をアセスメントしている（特に学習面）。	・アセスメントツールを使う機会が少なかった。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		・移行支援、地域支援も支援内容は明記しているが、実行が難しい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	88%	13%		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・長期休みでお出かけやクッキング等をしている。 ・平日プログラムは固定されている事が多いが、長期休みは様々な活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・子どもの状況に応じて活動、支援が行われていると感じている。 ・個別では学習、集団では遊びを通して、計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	89%	11%		・毎日ミーティングを行うようになっているが、下校時間がまちまちだと利用者の受け入れが優先され、打ち合わせが十分でない日もある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	78%	22%	・担当者以外が関わった時など、担当者に様子を共有している。 ・支援終了後は、その日勤務の職員と共有している。後日やミーティング時に共有している。	・送迎などで、全員が集まる機会が少ない。出来る限り共有できるように工夫したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	・意識して取り組むようになっている。	
関係機関や保	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	89%	11%	・遊びは自分で選択できている。 ・遊びは自己決定が主体。学習も相談しつつ、個々の判断を尊重している。	・学習内容について、本人の目標や意向を聞き、取り入れたり、遊びの内容も自由に決められる環境にあるが、自己決定する力を育てるための支援は不十分な時がある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・利用者の担当者とサービス管理責任者の2名でなるべく参画するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・送迎時に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	88%	13%	・保護者を介して情報共有している。	・機会が少ない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71%	29%	・希望に応じて行っている。 ・必要に応じて行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
護 者 と の 連 携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	88%	13%	・教会学校への案内をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	44%	56%	・教会のクリスマス会等に誘っている。	
	33	(自立支援) 協議会等積極的に参加しているか。	50%	50%	・必要に応じて行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	・今年実施していないが、プログラムは用意している。	
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・LINE、連絡帳、対面等を通して行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	78%	22%	・年に1回、クリスマス会を開催し、交流する機会を設けている。 ・今年度は講演会、クリスマス会を実施した。 ・保護者会、クリスマス会などを年間で行っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・できる限り迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・「ジョイジョイだより」を1~2回発行した。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・コミュニケーションがよく取れるように、対面の方が伝わりやすい場合は訪問している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	30%	70%		
非 常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・保護者を通じて行っているが、看護師がいる事業所ではないので、できる範囲で確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・おやつ提供の際、アレルギーの有無が分かるようにスタッフで共有している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	90%	10%	・月1回のミーティング時に情報共有している。	・ヒヤリハットの記録の共有が十分でない時があったので、ミーティング時に必ずするようにした。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・3回の研修を実施した。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・契約時に同意を取っている。	